

VIII 研究活動と研究体制の整備

教員個人の研究・社会活動については「XIII 教員の研究教育・社会貢献活動」に示した。

1 財務・研究費

1-1 学外からの研究費補助

1-1-1 科学研究費補助金の申請・採択状況

		H25		H26		H27		H28		H29		H30	
研究種目	審査区分	申請	採択	申請	採択	申請	採択	申請	採択	申請	採択	申請	採択
特別推進研究 5億円程度 期間3～5年													
特定研究領域 2千万～6億円程度 期間3～6年	計画												
	公募												
基盤研究 (S) 5千万円以上1億円程度 期間5年													
基盤研究 (A) 2千万円以上5千万円以下 期間2～4年	一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	海外学術調査												<1> 1
基盤研究 (B) 5百万円以上2千万円以下 期間2～4年	一般	<3> 10	<3> 7	<2> 3	<2> 2	<1> 4	<1> 1	<1> 4	<1> 2	<2> 5	<2> 2	<2> 7	<2> 2
	海外学術												
基盤研究 (C) 5百万円以下 期間2～4年 企画調査は1年	一般	<17> 53	<17> 40	<17> 45	<17> 29	<21> 38	<21> 25	<21> 37	<21> 25	<15> 41	<15> 21	<12> 37	<12> 19
	一般時限												
	企画調査												
挑戦的萌芽研究 5百万円以下 期間1～3年		<4> 19	<4> 10	<4> 8	<4> 6	<4> 12	<4> 4	<1> 9	<1> 3	<3> 3	<3> 3	<3> 3	<3> 3
挑戦的研究 (開拓) 5百万円以上2千万円以下 期間3～6年												2	0
挑戦的研究 (萌芽) 5百万円以下 期間2～3年										1	0		
若手研究 (A) 5百万円以上2千万円以下 期間2～3年													
若手研究 (B) 5百万円以上2千万円以下 期間2～3年		<2> 10	<2> 5	<2> 5	<2> 3	<3> 5	<3> 5	<5> 3	<7> 1	<7> 10	<7> 9	<7> 7	<7> 7
若手研究 5百万円以上2千万円以下 期間2～3年												4	1
研究成果公開促進費						4	1	1	0	1	0	2	1
研究活動スタート支援												4	2
特別研究員奨励費 期間3年以内		<0> 2	<1> 2	<1> 1	<1> 1	<1> 1	<1> 1	<0> 0	<0> 0	<0> 0	<0> 0	<0> 0	<0> 0
奨励研究		4	1	2	0	4	1	4	2	0	0		
合計		<27> 98	<27> 65	<26> 64	<26> 41	<30> 68	<30> 37	<28> 37	<30> 10	<27> 61	<27> 33	<24> 65	<25> 36

※申請欄の数には、転出者を含め転入者を含めない。採択欄の数には、転入者を含め転出者を含めない。

※〈 〉付き数字は前年度から継続を内数で示す。

※数字は、申請時・採択時点での件数である。

※()は研究区分(1)の数字を内数で示す

1-1-2 受託研究費の受入

(1) 受託研究費受入額等について

研究担当者等	直接経費	間接経費	合計額	研究題目
伊藤 孝	455,000	45,000	500,000	北西太平洋域の海底鉄マンガン鉱床の多様性解明
計	455,000	45,000	500,000	

(2) 共同研究経費受入額等について

研究担当者等	金額	研究題目	共同研究相手方
小林 祐紀	735,000	小学校プログラミング開発に関わる授業開発	大日本図書（株）
小林 祐紀	113,400	小中学校における本質的なプログラミング学習	エデュテクノロジー（株）
小林 祐紀	420,000	タブレットPCで活用する学習者用デジタル教材の開発	大日本図書（株）
計	1,268,400		

1-1-3 寄附金受入額等について

寄附者	寄附金額	担当教員等	寄附目的等
(公財) 日本教育公務員弘済会	913,978	小林祐紀	小学校プログラミング教育に関する教員用研修パッケージの開発
教育学部後援会	2,000,000	教育学部	茨城大学教育学部における教育の振興に関する援助
郡司晴元	250,000	郡司晴元	体験型環境教育に関する研究助成
資源地質学会	855,000	伊藤孝	学術研究助成
計	4,018,978		

(附属学校)

寄附者	寄附金額	担当校等	寄附目的等
附属幼稚園教育振興会	1,190,000	附属幼稚園	茨城大学教育学部附属幼稚園における教育の振興に関する各種の援助
附属小学校教育振興会	1,800,000	附属小学校	茨城大学教育学部附属小学校における教育の振興に関する各種の援助
附属中学校教育振興会	8,000,000	附属中学校	茨城大学教育学部附属中学校における教育の振興に関する各種の援助
計	10,990,000		

1-2 研究費の配分

教育・研究基盤経費教室等配分表

(千円)

教室等	教育経費	研究経費	配分額計	配分調整額	最終配分額	前年度配分額
国語教育	1,478	650	2,128		2,128	2,323
社会科教育	1,357	780	2,137		2,137	2,183
数学教育	1,389	650	2,039		2,039	2,005
理科教育	1,242	910	2,152		2,152	1,692
音楽教育	1,000	780	1,780		1,780	1,935
美術教育	739	780	1,519		1,519	1,405
保健体育	1,077	650	1,727		1,727	2,177
技術教育	1,083	650	1,733		1,733	1,559
家政教育	682	910	1,592		1,592	1,710
英語教育	714	780	1,494		1,494	1,505
障害児教育	1,822	650	2,472		2,472	2,867
教育保健	1,752	780	2,532		2,532	2,198
学校教育	790	780	1,570		1,570	1,323
情報文化	1,873	780	2,653		2,653	2,417
人間環境教育	1,223	910	2,133		2,133	2,131
学校臨床心理	1,121	520	1,641		1,641	1,756
教育実践高度化	1,580	1,560	3,140		3,140	4,106
配分残額(共通経費へ)	3,000	1,560	4,560		4,560	-
合計	23,922	15,080	39,002		39,002	35,292

2 研究交流

2-1 サバティカル

吉野聡 平成 30 年 4 月 1 日 から 平成 31 年 3 月 31 日

2-2 ポスドクの受け入れ

なし

2-3 組織交流

2-3-1 学会

(1) 事務局が設置されたもの

名 称	役 割	担当者
日本教育大学協会関東地区会教科等別研究部門（国語）	事務局	主任 川嶋秀之 全教員
茨城国語教育学会	事務局	会長 増子和男 全教員
日本科学教育学会研究会	事務局	企画編集委員 宮本直樹
大学家庭科教育研究会	事務局	庶務 佐藤裕紀子 会計 野中美津枝
茨城県小児保健協会	事務局	会長 古池雄治 事務局長 瀧澤利
教職員のための研修会	事務局	齊藤ふくみ
日本ペスタロッチャー・フレーベル学会	事務局	事務局長 小川哲哉

(2) 学会開催（主催・共催したもので本学部教員がかかわったもの）

名 称	年 月 日	主催・共催	会 場	参加者数
日本教育大学協会関東地区会教科等別研究部門（国語）研究会	平成 30 年 12 月 8 日	日本教育大学協会関東地区会	茨城大学教育学部茨城国語教育学会 D412	14 名
茨城国語教育学会第 38 回研究発表会	平成 31 年 3 月 3 日	茨城国語教育学会・国語教師力育成研究会	茨城国語教育学会 D201	120 名
第 7 回日本科学教育学会研究会	平成 30 年 4 月 21 日	日本科学教育学会	茨城大学教育学部 B 棟 203 教室・204 教室	77 名

日本家庭科教育学会第 61 回大会	平成 30 年 7 月 7 日 ～8 日	日本家庭科教育学会	茨城大学教育学部 B 棟、D 棟	262 名
第 123 回発達科学研究交流会	平成 31 年 2 月 23-24 日	茨城大学教育学部障害児生理学研究室	茨城県農村研修館	50 名
D-project 茨城定期学習会	平成 30 年 5 月 19 日	主催：D-project 茨城	教育学部 A430	34 名
D-project 茨城定期学習会	平成 30 年 10 月 20 日	主催：D-project 茨城	教育学部 A430	23 名
D-project 茨城定期学習会	平成 30 年 12 月 8 日	主催：D-project 茨城	教育学部 A430	37 名
D-project 茨城定期学習会	平成 31 年 2 月 9 日	主催：D-project 茨城	教育学部 A430	97 名

2-3-2 講演・シンポジウム

名 称	年月日	主催・共催	会 場	参加者数
Skrandies 教授 特別講演 講演題目 『Anatomical and physiological bases of human electrical brain activity』	平成 31 年 1 月 31 日	茨城大学教育学部障害児生理学研究室 (平成 30 年度茨城大学研究拠点経費)	A528	20 名
平成 30 年度茨城小児保健協会総会・講演会	平成 30 年 8 月 1 日	主催：茨城県小児保健協会 共催：茨城大学養護教諭養成課程同門会	図書館ライブラリーホール	70 名
教職員のための研修会	平成 30 年 8 月 1 日	主催：茨城大学養護教諭養成課程同門会 共催：茨城県小児保健協会	図書館ライブラリーホール	70 名

平成 30 年度茨城県 研修センター研究発 表会	平成 30 年 12 月 26 日 (水), 27 日 (木)	主催：茨城大学大 学院教育実践高 度化専攻	茨城県教育研修セン ター第 6 研修室	163 名
第 3 回 教育実践フ ォーラム	平成 31 年 3 月 2 日	主催：茨城大学大 学院教育実践高 度化専攻	茨城大学水戸キャン パス教育学部 D 棟 D201 教室	131 名

2-4 教育委員会との組織交流

2-4-1 教育学部委託生一覧 (前期)

番号	氏名	性別	勤務先	職名	研究主題	受入期間	教科等	受入教室等	受入教員	派遣元
1	小野 勝	男	北茨城市立柳葉小学校	教諭	読み取ったことを基に自分の考えをまとめたり、深めたりする力を育てる国語科学習指導の在り方 ―物語文を「批評的に読むこと」の実践構想―		国語	国語教育	昌子 佳広	茨城県教育委員会
2	栗林 亜紗美	女	水戸市立藤里小学校	教諭	主体的・対話的で深い学びを生み出す算数科学習指導の在り方 ―「なるほど!」という実感が伴う「割合」の指導を目指して―		算数	数学教育	根本 博	茨城県教育委員会
3	於音能 みゆき	女	日立市立水木小学校	教諭	数学的思考力・判断力・表現力を高める算数科学習指導の在り方 ―第3学年「小数」における問題解決的な学習の授業改善を通して―		算数	数学教育	根本 博	茨城県教育委員会
4	磯 邦昭	男	日立市立助川小学校	教諭	学びに向かう力を育成するための理科学習指導の在り方 ―第6学年「てこのばらさき」における「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた単元構想を通して―		理科	理科教育	矢島 裕介	茨城県教育委員会
5	構 明浩	男	日立市立日高中学校	教諭	生徒の主体性を高め、科学の有用性を実感できる理科学習の展開 ―対話を軸としたアクリティブラーニング型の授業を通して―		理科	理科教育	永尾 敬一	茨城県教育委員会
6	村尾 孝啓	男	取手市立永山小学校	教諭	問題解決の力を育成する理科学習 ―見通しをもたせるための仮説設定に着目して―		理科	理科教育	宮本 直樹	茨城県教育委員会
7	鶴巻 紀子	女	ひたちなか市立藤田第一中学校	教諭	音楽のよさや美しさを感じ取り、創意工夫して表現する力を育む音楽科学習指導の在り方 ―学び合いを取り入れた、主体的・対話的で深い学びの視点での音楽科授業の改善を通して―	平成30年4月1日(日) ～ 平成30年6月30日(土)	音楽	音楽教育	藤田 文子	茨城県教育委員会
8	三村 拓郎	男	常陸大宮市立大宮小学校	教諭	音楽で慣れ親しみ重ねることに意欲的に取り組むことができる外国語指導の在り方 ―教科等横断型の授業を通して―		外国語活動	英語教育	猪井 新一	茨城県教育委員会
9	遊佐 真理子	女	北茨城市立関本中学校	教諭	生徒の学ぶ意欲を引き出す工夫 ―Can-Doリストを活用して		外国語(英語)	英語教育	齋藤 英敏	茨城県教育委員会
10	雷田 英明	男	行方市立麻生東小学校	教諭	小学校学級担任による外国語活動・外国語の指導のT化に向けて ―授業のルーティン化を通して―		外国語活動	英語教育	猪井 新一	茨城県教育委員会
11	並木 知佳子	女	結城市立城南小学校	教諭	英語に慣れ親しみ、積極的に伝え合える外国語活動の在り方 ―コミュニケーションを図る素地となる力を養う「English Day」の取組と授業の関連を図る工夫を通して―		外国語活動	英語教育	猪井 新一	茨城県教育委員会
12	笠松 晶	女	つくば市立二の宮小学校	教諭	自己肯定感を育み、豊かな人間関係をつくる学級経営の在り方 ―互いに認め合えるクラスルーム・マネジメントの改善を通して―		学級経営	学校教育	坂場 克身	茨城県教育委員会
13	川澄 陽子	女	那珂市立東郷小学校	教諭	論理的思考を具体的に示した小学校プログラミング教育の年間指導計画の開発		教育の情報化	学校教育	小林 祐紀	茨城県教育委員会
1	松田 麻希	女	水戸市立見川幼稚園	教諭	言葉の発達に連れながら幼児のための園に応じた指導方法の在り方	平成30年4月1日(日) ～	特別支援	障害児教育	田原 敬	水戸市教育委員会
2	貴志 梓	女	日立市立鶴形幼稚園	教諭	発達障害児の特性と園に応じた指導法についての研究	平成30年6月30日(日)	特別支援	障害児教育	田原 敬	日立市教育委員会

2-4-2 教育学部委託生一覽 (後期)

番号	氏名	性別	勤務先	職名	研究主題	受入期間	教科等	受入教室等	受入教員	派遣元
1	石崎 智恵子	女	水戸市立笠原中学校	教諭	論理的思考力・表現力の育成につながる語彙指導の在り方 → 文芸表現に着目した「読むこと」と「書くこと」との関連を図る学習指導を通して～	平成30年9月21日(金) ～ 平成30年12月31日(月)	国語	国語教育	鈴木 一史	茨城県教育委員会
2	遠藤 聡子	女	日立市立大久保中学校	教諭	「主体的で深い学びのための授業づくり」～「読むこと」の教材を通して～		国語	国語教育	川嶋 秀之	茨城県教育委員会
3	丸山 真理子	女	常陸太田市立藤初小学校	教諭	「書いて、伝える」力を高める国語科授業の在り方 → 読書の力育成。「書くこと」の系統づくり、「交流」の重視～		国語	国語教育	昌子 佳広	茨城県教育委員会
4	根本 俊	男	小宮市立立橋小学校	教諭	読解力を育む社会科学習指導の在り方 → 小学校社会科における資料読み取りスキルの活用と単元の学習展開を想定した資料化を通して～		社会	社会科教育	木村 勝彦	茨城県教育委員会
5	内海 直樹	男	水戸市立第二中学校	教諭	科学的な思考力、判断力、表現力を育てる数学学習指導の在り方 → 中学校第2学年「数」における「数と式」の系統づくり		数学	数学教育	根本 博	茨城県教育委員会
6	江原 則子	女	日立市立藤野小学校	教諭	基礎的・基本的な知識及び技能に付く算数科学習指導の在り方 → 全ての児童が参加し、図形理解を深めるための授業づくり～		算数	数学教育	根本 博	茨城県教育委員会
7	松本 隼典	男	境町立境第二中学校	教諭	科学的な思考力を高める数学学習指導の在り方 → 発問の精選とICT機器を活用した数学的活動の充実を通して～		数学	数学教育	根本 博	茨城県教育委員会
8	山口 司	男	那珂市立立谷東小学校	教諭	子供が理科の面白さを認める探究的な学習指導の在り方 → イギリス科学教育におけるinvestigationの要素を取り入れた単元の構想を通して～		理科	理科教育	伊藤 孝	茨城県教育委員会
9	金谷 晋	男	大子町立南中学校	教諭	学んだことを次の課題に活用する力を育むための理科授業の在り方 → 地質標本と実験資料の活用を通して～		理科	理科教育	上原 伸一	茨城県教育委員会
10	和田 留美子	女	常陸太田市立星美小学校	教諭	小学校第2学年「量」における理科の見方・考え方を働かせることのできる単元構想の在り方 → 物の見え方を可視化し、定量化できる教材開発～		理科	理科教育	青島 政之	茨城県教育委員会
11	佐藤 一廉	男	取手市立戸頭中学校	教諭	理科を学ぶ意義や有用性を実感できる理科学習指導の在り方 → 中学校第3学年「生物と生態とエネルギー」「水循環とイオン」における、日常生活との関連を意識した探究的な活動や振り返りの充実を通して～		理科	理科教育	栗田 孝晴	茨城県教育委員会
12	百目鬼 明	男	筑西市立中小学校	教諭	児童のプログラミング的思考を育む理科学習指導の工夫		理科	理科教育	郡司 晴元	茨城県教育委員会
13	西澤寺 太志	男	水戸市立見川小学校	教諭	運動することによる楽しさを味わわせ、運動が健康を高める体育学習指導法の在り方 → 第5学年「体の動きを高める運動」における「わかる」「できる」「かかわる」を保証した学習過程、「1つながら」教材の工夫を通して～		体育	保健体育教育	渡邊 将司	茨城県教育委員会
14	山崎 由佳	女	常陸市立水海道小学校	教諭	採得の動作のポイントを知り、主体的に楽しく活動できる体育学習指導の在り方 → 第5学年における運動の場定と学習カードの工夫を通して～		体育	保健体育教育	渡邊 将司	茨城県教育委員会
15	山本 千佳	女	行方市立藤生小学校	教諭	音楽のよさを面白さを感じ取る力を育てる音楽科学習指導の在り方 → 身体感覚から児童の気持ちを引き出す種別活動を通して～		音楽	音楽教育	藤田 文子	茨城県教育委員会
16	水牧 広美	女	つくば市立吾妻小学校	教諭	音楽科における主体的・対話的で深い学びを育む指導の充実 → 鑑賞と音楽づくりの相互の関連を図った授業展開を通して～		音楽	音楽教育	田中 健次	茨城県教育委員会
17	石川 亜希子	女	水戸市立石川小学校	教諭	小学校の「外国語活動・外国語科」における文字指導 → 体験活動を通して文字指導の在り方～		外国語活動	英語教育	猪井 新一	茨城県教育委員会
18	上曾 恵理子	女	笠原市立笠原中学校	教諭	学習到達目標の工夫と動機づけとなる評価の在り方 → 少人数グループ学習を生かした指導を通して～		外国語(英語)	英語教育	齋藤 英敏	茨城県教育委員会
19	小室 裕子	女	北茨城市立中郷中学校	教諭	学び合いで読解力を伸ばす英語科学習指導 → 音読指導とワークシートの工夫を通して～		外国語(英語)	英語教育	小林 翔	茨城県教育委員会
20	木内 佳代子	女	神栖市立波崎第四中学校	教諭	文と文のつながりを整理して文章を書く力を高める英語科学習指導の在り方 → 主体的・協働的な活動を取り入れた英語科授業の改善を通して～		外国語(英語)	英語教育	小林 翔	茨城県教育委員会
21	根本 かつり	女	土浦市立都和小学校	教諭	よりよい人間関係を育む学級経営の在り方 → コミュニケーション能力を高める指導方法の工夫を通して～		学級経営	学校教育	打越 正貴	茨城県教育委員会
22	藤井 るみ子	女	桜川市立羽黒小学校	教諭	規範意識を高め、互いのよさを認め合う学級集団の育成 → 人間関係づくりを基盤として～		学級経営	学校教育	藤田 達人	茨城県教育委員会
23	野々 真樹	女	県北茨城県特別支援学校	養護教諭	教育相談コーディネーターの役割・演習についての質的研究 → スクールカウンセラーとの連携を通して～		教育相談	学校教育	三輪 善二	茨城県教育委員会
24	山下 英信	男	取手市立高井小学校	教諭	考える力、伝え合う力を育むプログラミング教育の在り方 → 思考ツールを生かし柔軟性を重視した授業デザインを通して～		教育の情報化	学校教育	小林 祐記	茨城県教育委員会
25	仲夏川 康隆	男	古河市立大和田小学校	教諭	防犯を立てて考え、表現する能力を育てるプログラミング教育の在り方		教育の情報化	学校教育	小林 祐記	茨城県教育委員会
26	澤老原 侑子	女	ひたちなか市立阿ヶ浦小学校	養護教諭	児童の行動改善を継続し、健康課題に対応できる思考力や判断力の育成を図るための保健指導 → 茨城大学教育学部健康教育学院課程4年生への保健指導の試行を通して～		教育の情報化	学校教育	齊藤 ふくみ	茨城県教育委員会

3 研究成果

3-1 学内刊行物

名 称	発 行	判型	頁数	発行部数	発行年月日
『さらしめ』第三十号	茨城国語教育学会	A4	4	300 部	平成 30 年 4 月 1 日
『茨城の国語教育』第十六号	茨城国語教育学会	A5	79	350 部	平成 31 年 3 月 3 日
『日本教育大学協会関東地区会教科教育研究部門（国語）研究会及び「第二回国語教師力育成研究会」活動報告』	茨城大学教育学部国語教育教室	A4	6	200 部	平成 31 年 3 月 3 日
障害児教育研究集録第 50 集	茨城大学教育学部障害児教育教室	A4 版	頁	300 部	平成 31 年 3 月
「茨城大学大学院教育学研究科教育実践高度化専攻（教職大学院）年報」第 3 号	茨城大学大学院教育学研究科教育実践高度化専攻（教職大学院）	A4 版	339	300 部	平成 31 年 3 月